

徳川家康って どんな人？

出世大名 家康くんは、江戸幕府を開いた徳川家康の生まれ変わりだといわれているんだ。では、家康は、いったいどんな人物だったのかな。

徳川家康の天下取りストーリー

今の日本は国が1つにまとまっているけれど、約550年前の日本は、いくつもの国に分かれていたんだ。そして、それぞれの国を支配する武将たちが、領地を揚げようと戦いを絶えず繰り返していた。その時代のことを「戦国時代」というんだよ。

家康の天下取り
ストーリーの
はじまりじゃ！



人質として過ごした子ども時代

家康は、1542年に三河国の岡崎城で、城主の松平家の長男として生まれた。

ところが、当時の松平家は力が弱かったので、家康は6歳のときに隣の尾張国を支配していた織田氏の人質にとられたんだ。家康のおじいさんの清康は25歳で、お父さんの広忠は24歳で殺され、お母さんとはわずか3歳で別れることになったんだ。戦国時代がいかにきびしい時代だったかがよくわかるね。

さらに8歳のときには、駿河国を支配していた今川氏の人質となり、子ども時代のほとんどを敵のもとで過ごしたんだって。

幼い頃は
「竹千代」
という名前
だったんじゃ！



人質時代の家康はどんなふうにごしていたの？

駿河国の武将・今川義元は、人質の家康をかわいがり、家康は日本や中国の歴史・古典などを勉強しながら成長した。

人質時代は、1560年に「桶狭間の戦い」で織田信長が今川義元を破るまで続いたよ。



いよいよ
はまつ
浜松へ
しゅっぱつ
出発じゃ！



▲ 遠州浜松城絵図／浜松市博物館蔵

家康、浜松城をつくる！

19歳で人質生活を終えた家康は、三河国に戻り、各地にいた武将を攻めていった。そして、大きな一揆をおさえ、1565年ごろには三河国を支配するまでになった。

その後、今川氏が衰えてきたことを感じた家康は、ついに今川氏が支配していた遠江国に侵攻してきた。1570年には、遠江国にあった引間城に移り、城を大きくして浜松城をつくったんだ。そのとき、家康は29歳。それから45歳まで浜松城にいたんだよ。

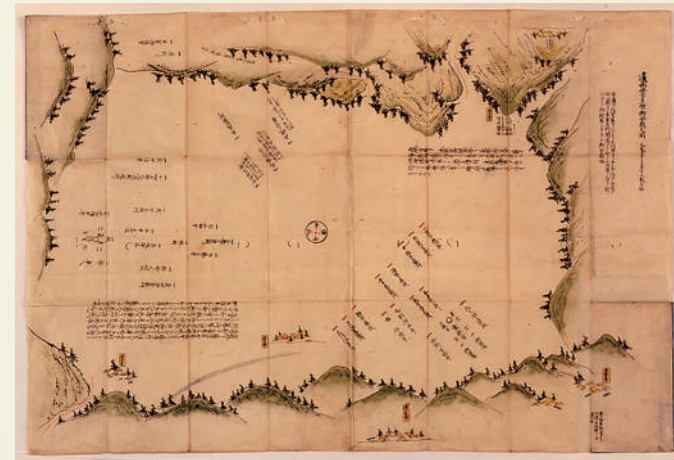
宿敵・武田信玄との戦い

浜松で過ごした17年の間、家康はいろんな戦いに出陣したり、信長に「裏切っているのでは」とうたがわれて、妻や長男を死に追いやったりと、いろんなつらいことがあったんだ。

特に大きな痛手となったのが、1572年の「三方ヶ原の戦い」だ。武田信玄に惨敗した家康は、この戦いで多くの家臣を失った。

※家臣とは…主君や大名に仕える人。家来のこと。

つらいことがあっても、浜松の人たちに支えられてのりこえられたんじゃ！



▲ 遠州味方ヶ原御合戦之図／浜松市博物館蔵

家康が挑んだ三方ヶ原の戦い

家康は、浜松にいたころに人生最大の負け戦を体験した。それが、浜松に来てから2年後におこった「三方ヶ原の戦い(1572)」だ。



みかたがはらかっせん の す はままつし はくぶつかんぞう
▲ 味方ヶ原合戦之図 / 浜松市博物館蔵

せっしゃ
拙者の
人生最大の
負け戦じゃ!



戦いの背景

甲斐国の武田信玄は、信長を倒そうと、京都へ向かっていた。そして、その途中にある遠江国を攻めようとしたんだ。



30,000の武田軍 VS 8,000の徳川軍+3,000の織田軍

遠江国には、全部で30,000人もの武田軍が押し寄せ、周辺の小さな城が次々と攻め落とされていった。

信玄の挑発に乗った家康

家康は、浜松城にこもって武田軍を迎え撃つ作戦を立てた。

しかし、武田軍はなぜか浜松城を素通りして、その先にある三方原台地に向かっていったんだ。

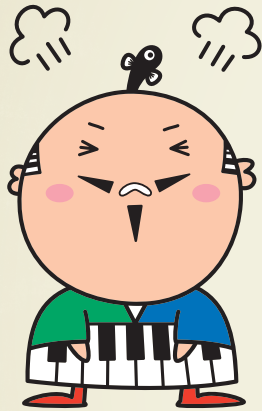
実はそのとき信玄は「浜松城は守りが堅いから、攻め落とすのは大変だ。家康を外へおびき出してたたきのめそう」と考えていたらしい。



▲ 武田信玄

ともかく戦わずにはいられない！

家康は、素通りしていく武田軍を黙って見てはいられなかった。



「多勢の人が我が屋敷の裏口を勝手に踏み切ろうとしているのに、屋敷の中にいたまま、それをとがめずにいる人がいるであろうか。それと同じように、敵が我が国を踏み切ろうとしているのに、相手が多勢だからといって、どうしてとがめずにいれようか」
(出典：三河物語)

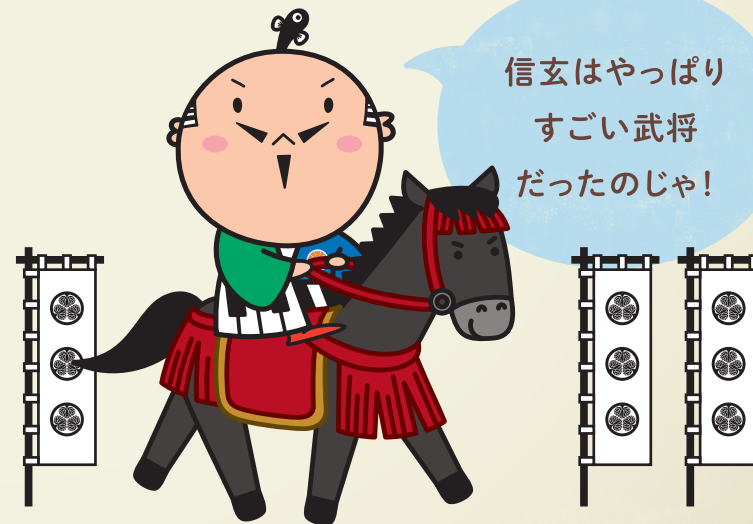
と、武田軍の背後から襲いかかろうとしたんだ。

武田軍との激突

徳川軍は、武田軍の背後から襲いかかっていったものの、戦国最強の騎馬軍団を相手に、総崩れとなっていた。最終的に徳川軍はおよそ1,000人もの戦死者を出す大敗北に終わったけれど、戦いの後、信玄は「家康は恐るべき敵である」といったそうだよ。



▲ 三方ヶ原の戦いジオラマ《激突》／犀ヶ崖資料館蔵 制作：山田卓司



信玄はやっぱり
すごい武将
だったのじゃ！

信玄から受け継いだ戦国魂

三方ヶ原の戦いのわずか4カ月後、信玄は病気で急死した。
家康は信玄の死を惜しみ、家臣たちにこう伝えただって。



「信玄の死は、喜ぶべきものではない。
私は若い頃から彼のようにになりたいと
励み、実益を得たことも多い」

三方ヶ原の戦いから10年
後、武田家は信長と家康の
連合軍に敗れ、完全に滅亡
した。

その後、家康は、武田家の家
臣たちを受け入れ、武田軍の
軍事力を取り込んだという。

家康は三方ヶ原の戦いには
負けたけれど、その後はい
ろんな戦いを勝ち抜いて、
のちに天下統一を果たした
んだ。

徳川家康公3D肖像／浜松城蔵 制作：JIRO氏 ▶



犀ヶ崖古戦場・資料館

三方ヶ原の戦い
のことがもっと
詳しくわかるよ。



古戦場碑

浜松市北区根洗町の三方原
墓園の中には、三方ヶ原の
戦いの古戦場碑があるよ。

浜松城

戦いの様子を再現した
映像コーナーがあるから
参考にしてね。



！ 研究のヒント

武田軍と徳川軍の陣形を描いて、両軍の動きを詳しく
調べてみよう。※陣形…兵や装備などの配置を示す型

家康、浜松を去る

織田・徳川の連合軍は甲斐に攻め入り、1582年3月に武田家を滅ぼした。

しかし、その年の6月には、信長が本能寺の変で亡くなった。その約半年後の12月には、家康は三河・遠江・駿河・甲斐・信濃の5カ国をまとめる大大名へと成長した。

そして、秀吉の家臣となり、1586年に浜松城から駿府城に移ることになったんだ。



▲ 織田信長



▲ 豊臣秀吉



浜松よ
さらばじゃ!

関ヶ原の戦いで勝利!

秀吉の死後、家康は関ヶ原の戦いに勝利! 天下を統一して、1603年に江戸幕府を開いた。このとき、家康は62歳だったんだよ。

家康にとって浜松時代は、武田氏、北条氏、そして豊臣秀吉との戦いなど、苦しい戦いの連続で、それこそ息をつく暇もない時代だったんだ。



▲ 徳川家康像／浜松市博物館蔵

! 研究のヒント

徳川家康のことを調べて、そのあゆみを年表や地図にまとめよう!